

宗教法人 出雲心友教会 「35周年祭」を開催いたします

今回は、「35周年祭」を盛り上げて下さる、バラエティーマジシャンの『なか。たつや』さんをご紹介します。



なか。たつや (ター君)
職業：「バラエティーマジシャン」
生年月日：1976年6月17日
出身地：京都
身長：175mm
体重：66kg
血液型：A型
星座：双子座
趣味：音楽を聴くこと
お笑いを見に行く
カラオケ
ボクシング観戦

「History」

スポーツ万能と言われていた小学生時代。野球に夢中だった。ひよんなことがきっかけで父親が披露してくれた手品に感動し、自ら独学で手品にのめりこんでいく。その一方、相も変わらずスポーツ万能だったので高校2年生の時ボクシングに出会い、始めて1年でインターハイに出場。3位に入賞する。その後、駒澤大学から特待生として迎えらる。しかし、20歳の時、3カ月入院するほどの交通事故に遭い、そのとき母親がリハビリ用にとプレゼントしてくれたマジックの本がその人生の転機となった。入院中の3カ月間でその本のマジックを習得した。見舞いに来くれた母親や、ナース、友人が皆喜び、感動してくれた。その後、大学4年生では主将を務めるほどボクサーとしても回復を遂げたが、プロ転向を志望せず、人を不思議な感動に巻き込む、マジックを選んだ。現在バラエティーマジシャンと自らを称して、世界に向かってマジック街道を邁進中である。

以上がプロフィールですが、なかさんはマギー審司さんに「耳がでっかくなっちゃった」というジョークマジックを伝授した事でも知られます。

なかさんは現在テレビ、雑誌、イベント、結婚式などに多数出演されています。

宗教法人 出雲心友教会「35周年祭」

日時 平成19年4月8日 (日曜日) 午後五時開宴

場所 新宿 京王プラザホテル『エミネンス』

出雲

国譲りの聖地と言いつづられ、神在(有)月に神々が集い、寄り来る出雲大社の西約一キロの稲作の浜に夕日が沈む頃ともなりますと、地元も大社の町筋のあちこちで「ばんじまして」との声が聞かれます。

この挨拶の言葉は、「こんばんは」に近い日暮れ時に言うそうです。

また、宿舎の玄関で「お帰りなさいませ」と口々に迎えられた時、「心」のふるさとに、本当に帰ったのだと改めて実感致します。

平安時代の中頃、源為憲の著という『口遊』には、次の様に記されています。

当時の著名なものを紹介したり、その大きさの順位を暗記しやすい様に工夫して書きまとめたもので、この中に「橋」と「大仏」と「建物」について、その大きさの第一、第二、第三位が記してあります。

まず橋は、(山太、近二、宇三)とあります。すなわち、一位が京都の山崎橋、二位が近江の勢多橋、三位

が京都の宇治橋の順になると説明されております。

次に大仏の項を見ますと(和太、河二、近三)とあり、説明によりますと、一位が大和の東大寺の大仏、二位が河内の知識寺、三位が近江の関寺の仏像とあります。東大寺の大仏が最大なのは、今も昔も変わりありません。

そして、建物はと言うと「大屋を誦して謂う」とあり(雲太、和二、京三)と記してあります。

説明によりますと、一位が出雲郡にある出雲大社の神殿とあり、二位が大和国東大寺の大仏殿で、三位が京都の大極殿八省(現在の平安神宮)とあります。

もう一つ、鎌倉時代の初め、藤原長清が撰集した歌集『夫木抄』(三六卷)の中に歌人として名高い寂蓮法師の「千木の片そぎ」の歌があります。

寂蓮法師は、平安末期の建久元年(一一九〇年)の春、諸国遍歴の長い旅に出て、出雲の地にも訪れております。やはらぐる光や空に満ちぬらん雲に分け入る千木の片そぎ「出雲の大社に詣でて、

心友会だより
第387号
昭和44年6月1日創刊
平成18年11月8日発行
発行所及責任者
川崎市多摩区東生田4-1317
電話番号 044-976-0708
郵便番号 214-0031
宗教法人出雲心友教会
編集兼発行人 佐藤武彦
毎月8日1回発行
1部150円(送料共)
年間購読料1,800円

見待ければ、天雲たなびく山のなかばまで、片そぎの見えるけるなん、此世の事ともおぼえざりける」と。
出雲大社に初めて接して感銘のあまり、こう詠じております。

出雲大社に参拝された方は、ご存知でしょうか、八雲山は低い山であるにもかかわらず、朝夕にその中腹から水蒸気が沸き立ち、霧とまじり、杉の木立にまつわる様に立ち昇り雲となつてあたり一帯を神々しいベールでつつみます。

この八雲山こそ、出雲の神の古代の御神体とも言われ、今も神聖な山として、足を踏み入れる事を禁じられております。

こうした悠久な古代信仰にふれておると、人々は輪廻転生により、何度も『あの世』と『この世』を生まれ変わると言う様に、幽世を主宰されている大国主大神に、その生まれ変わりの過程の中で親しくお逢いしていたいと言う潜在意識が自然によみがえってくるのでしょうか。
それゆえに出雲は不思議

な思いに浸される国でもあるのでしょうか。
『古代の神々は、出雲に発して、出雲にもどる』

『汝自身の神を忘れるな』という教えは、大国主大神が一生の実践を通して、私共に教えて下さった尊い金言だといえましょう。

人生は和魂と荒魂だけでなく、その上に幸魂と奇魂とがある事、言いかえますと、人生は眼に見える世界の外に、幽れた道理のある事、それは自分自身の修行によって悟るべき事だと言う事を大国主大神は、自らの御体験を通して、私達に教えて下さっているのではないのでしょうか。

さて、不況に続く不況も少しは出口が見えてきたと言われる最近ですが、景気回復までには、まだまだ時間が必要に思いますが、今年も頑張つて、神迎祭に参列致しましょう。そして、『こうして今日ある事』を感じ謝し、ひとり静かに祈るうではありませんか。

天地の神の恵みしなかりせば一日一夜も あり得てまじや
(本居宣長)

平成18年度神迎祭日程

日程：平成18年11月30日(木)～12月1日(金)1泊2日 会費：78,000円 含まれるもの (お初穂料・往復交通費・宿泊費・昼食費等一切)

月日(曜)	行 程	宿 泊 地
11/30 (木)	<p>●ご集合時間 6:45 羽田空港第2ターミナル 2階出発ロビー</p> <p>7:25 ANA811 8:45 9:15 11:15頃 羽田空港 米子空港 竹野屋</p> <p>☆空港より貸切バスにて竹野屋へ移動。昼食は竹野屋にてお取頂きます。 竹野屋到着後「お行」となります。</p>	<p>出雲大社 「竹野屋」 (0853) 53-3131</p>
12/1 (金)	<p>8:30 貸切バス 12:30 13:30 竹野屋 熊野大社 神魂神社 (ご昼食) 八重垣神社</p> <p>15:30 16:15 ANA1668 17:35 荒神谷遺跡 出雲空港 羽田空港</p>	

航空会社のダイヤ改正、天候・道路事情等により、行程の時刻・内容が変更になることがあります。

大自然の恵みを活かして住まう 省エネ 活性化住宅
太陽で24時間床暖房 **ハイブリッド ソーラーハウス**

奥様の冷え性、ご主人のストレスを解消、喘息やアトピー症状を緩和、お年寄りのヒートショックを防止、上下温度差のない大空間 (全館床暖房) エネルギー削減など、人、水、土、空気、食品、他全ての物質に作用して、白蟻、ダニ、ゴキブリなどの害虫が来ない素晴らしい環境効果を生みます。
下記住所に当社モデルハウスが有りますので、是非見学、体験して下さい。

出雲心友会 横浜支部会員
My Hands 有限会社白幡工務店

〒221-0076 横浜市神奈川区白幡町6-10
TEL045-401-0549 FAX045-401-2085
E-mail:myhands@d3.dion.ne.jp
代表取締役 金子文雄

楽しい出逢いが待っています。

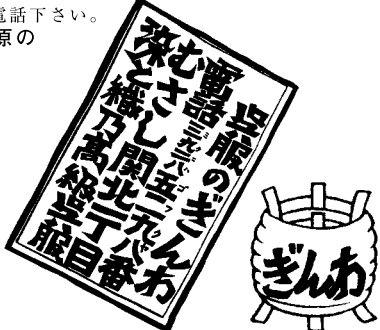


双眼鏡・天体望遠鏡・顕微鏡はビクセン
http://www.vixen.co.jp

TELESCOPES・BINOCULARS・MICROSCOPES・MAGNIFIERS・COMPASSES
株式会社 **ビクセン** 〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3
TEL : (042) 944-4000 (代)
FAX : (042) 944-4045

和服・お手入れ、きものことなら何でもお電話下さい。
都内・横浜・熱海・大宮・幕張・湯河原の
展示会にご案内いたします

呉服のぎんお



練馬区関町北1-15-11
TEL 03-3928-5298
八雲支部 渡邊

江戸前上種 本まぐろ

銀寿司

営業時間 昼 12:00~1:30 火曜休み
夜 5:00~9:00

東京都墨田区京島3-18-19
TEL 03(3611)8322
永代支部 長谷川
下町にお出かけの際は、是非お立ち寄り下さい。

正一位 中子稲荷

いなり茶屋

～法事会席3,500円より承っております～
水曜日定休
営業時間 午前11時～午後3時
午後6時～午後10時

群馬県北群馬郡伊香保町509-3
天田 信良・典子
TEL.0279-72-4465

運のお話

私たち日本人には、「苦しい時の神頼み」と言って神社を参拝し、ちよつと大切な事をしようとする時は、「縁起をかつぐ」と言う習性がある様です。

商売繁昌の為に熊手を飾り、招き猫をレジンなどの近くに置いたり、目の無いだるまを買って祈願をして、成就の際に目を入れたりする人たちは、かなりいる様です。

今日、国際化、情報化の

時代と言われていますが、こうした日本人の習性は、最近の占いブームで明らかな様に、表面上の近代化とは裏腹に、いっそう深く、広く浸透している様に思われます。その根底には、日本人が古来慣れ親しんできた汎神教的信仰があることが指摘されています。私たちの祖先は、日々・月々・年々・歳々の折節に、あるいは暮らしの多様な場面に、私たちの運命を操る神々を見ていました。

昔は、今日では考えられない程、生きる事が難しい

時代でしたから、「神頼み」を求める心も、とても強いものであったでしょう。

結果として、それが多種多様な英知を生み出し、後世に生きる私たちに、幸せになる為の大切な鍵、すなわち開運、招福の為の方法や暮らし上手になる為の方法を山のように残してくれました。私たちの身近にある多くの行事、しきたりは、なんとかして良い運をつかみたいとする祖先の願いによつてつくられたものだと言えます。

皆様方は、すでにご承知の事ですが、私たちの御守護神である大国主大神は、神々の司であらせられ、毎年神迎祭の神議りの時の主神でもあられます。

その時に、人間の翌年(節分から翌年)の寿命、運、出会いと縁などをご相談される訳ですから、占いの類いは、あまり信じない方が良いと思います。

同様に方位や方角も、大國主大神をお祀りしている以上、丑寅の方角以外は、さわりませんので安心下さい。

お歳暮のお話

お中元に対する年末の贈答儀礼としてすっかり定着している「お歳暮」も、もとをたせば忘年会同様、祖先の霊を迎えて祀る年越しの「魂祭」に関連していて、祭祀のために必要な供え物を親元へ持参する行事でした。

それが、一年の締めくくりに感謝のしるしとして、お世話になった方に正月用の物を心を込めて贈る「歳暮の礼・歳暮祝い」の習慣となり、略して「歳暮」と呼ぶようになりました。

供物を贈ることで、贈り先の健康を祝して、つながりをより深くするという意味もあるので、お歳暮を贈ることはとても縁起が良いことなのです。

お歳暮は、親だけでなく親方・師匠・仲人など目上の人に贈るものでしたが、現在では、日頃お世話になっている上司・知人、そして得意先にもまで範囲が拡大されています。

虚礼は廃すべきですが、心の込もった贈り物は人間

関係の潤滑油として大事なものですから、古来のしきたりを上手に活用するべきです。


本来、お歳暮の贈答品は大晦日までには持参すれば良いとされていましたが、江戸時代には十二月十三日を「正月始め」として、この日からお歳暮を含めて正月の準備を始めたそうです。

現在は、デパートや商店街の年末の恒例催事となっていて、早いところでは、十一月からお歳暮の売り出しが始まります。

一般的には、十二月初旬から二十日頃までに先方に届くようにするのがベストですが、新巻鮭や数の子などの正月用食品以外は、あまり押し迫ってからの新年のお年賀として松の内に贈った方が失礼になりません。

出来れば直接持参するのが望ましいのですが、暮れの忙しい時期なので先方の都合を確かめて訪問は短時間で切り上げる様に心掛け、都合がつかない場合は、配送を利用しましょう。

ご商談、ご宴会、各種会合にご利用下さい。



翁庵

新宿区神楽坂1-10
☎03(3260)2715

日立チェーンストール
ソーニー製品取扱店

東京電力認定優秀電気工事店

榊原電機株式会社

中野区沼袋1-2-12
☎03-3387-6351(代)



油のことなら何でもご相談下さい。

食用油脂・食品・調味料
石油製品・化学製品

カナダ株式会社

本社 東京都台東区浅草1丁目34番9号
〒111 TEL03-3861-1311(代)

営業所 大阪、名古屋、仙台、福岡
http://www.abura-ya.com/
http://www.abura-ya.com/realshop/realshop.html

人間ドック

疾病の早期発見・早期治療から予防そして健康生活のアドバイスまで!!

1日ドック・1泊2日ドック

◆資料無料送呈◆

医療法人社団 **同友会**

理事長 高谷 雅史

東京都文京区西片1-15-10
TEL.03-3816-5840

ボリューム満点 “おいしいラーメンの店”

ラーメン・ギョーザ・シューマイ・定食各種

らーめんはうす

川崎市多摩区登戸3142 TEL044-911-8351

鳥と卵のご用命は当店へ



宮川食鳥鶏卵株式会社

東京都中央区築地1-4-7

電話 03(3541)0164・0177・0370
FAX 03(3541)0164

八の日の月並祭にお詣り致しますよう

月並祭は、大神様の日頃の御加護に感謝する御祭です。自分の損得を抜きにして本当に感謝のお詣りをさせて頂く良い機会です。

『家で自分の大国様にお祈りしているからいいです』とか言い訳しないで、出来るだけ本殿にお詣り下さい。

八の日は月に三回あります。せめて一日ぐらいいは、

自分自身で日を決めてお詣り下さいませ。

特に総代の方、支部長の方、初心に返って、あの頃の生き生きとした、燃える様な気持ちを思い出して、お詣り下さい。

また、その後、勉強会をさせて頂き、大神様についてのお話を会長先生がして下さいます。その他皆様方の体験談や質問など、なかなか雰囲気の中で、ディスカッション形式で座談会をしておりますので、是非

御遷座祭について

引越しをされたら、すみやかに心友会へ新しい住所をお知らせして頂くのはもちろんですが、荷物整理をされて、ある程度家の中がおちついたら、大神様の引越しの報告祭である『御遷座祭』をしなければなりません。

その際、用意する物は、御初穂、御神体(大国様)、御神饌(鯛一匹、野菜七種類、赤飯)です。

あらかじめ日程をおとり致しますので、社務所までお電話下さいませ。

原稿募集中

編集部では、皆様からの原稿をお待ちしています。行事に参列された感想文、不思議な霊体験、身近に起こった感激の出来事など、その他、御意見・御感想など、どんな小さな事でも結構です。また、詩や短歌、俳句などもお送り下さい。

皆様からのお便りを心よりお待ちしております。皆様の力で、心友会だよりの紙面を楽しく、内容を豊富にしてゆきましよう。是非、御協力下さい。

ご参加下さい。

皆様の真心のお詣りを、大神様は大手を広げてお待ちしておりますので…。

☆御伺いの予約について

- ☆3日・13日・23日
 - 9:30~11:30 (午前の部)
 - 13:00~15:30 (午後の部)
- ☆8日・18日・28日
 - 9:30~11:30 (午前の部のみ)
 - 午後1時より月並祭 (時間厳守)

※ご予約は、当日の午前10時までにお電話下さい。お電話がありませんと、お待ち頂く場合がございます。
044-976-0708

広告募集のお知らせ

心友会だよりでは、皆様からの広告を募集致しております。

費用は、年間契約で三万円(月三千元)からとなっております。

会社、店舗などの宣伝に最適です。不況の今だからこそ、心友会だよりに掲載してみたいかがでしょうか。尚、お申し込みは、編集部の佐藤までお願い申し上げます。
☎〇四四-九七六-〇七〇八

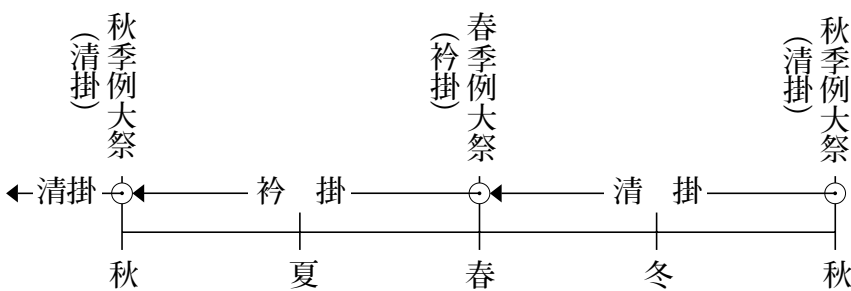
清掛と衾掛について

清掛と衾掛の着用の時期について、まだはつきりおわかりにならない方がいらっしゃると思いますので、確認させて頂きます。

詳細は、左記の通りです。

☆秋季例大祭当日より翌年の春季例大祭の前日まで
清掛の着用(冬季)

☆春季例大祭当日より同年の秋季例大祭の前日まで
衾掛の着用(夏季)



大国主大神のみ教え

一、此の大国主神の兄弟八十神ましき。然れども皆国は大国主神に遊りまつりき(古事記)

(意) 世は譲り合い、助け合いながら立てられる人となれ。

二、大穴牟遲神に袋を負せて従人として率めて往きき(古事記)

(意) 人生は重荷を負って行くが如し、進んで人の荷物を持つ人となれ。



発想をアクティブに。伝える情報を伝える情報に。マルチカルチュラル時代のコミュニケーションサービスを展開しています。

株式会社 プレシーズ
〒100-0072 東京都港区白金1-25-20
Tel: 03-3444-7111(代) Fax: 03-3442-5775
E-mail: mails@preseez.co.jp
Homepage: http://www.preseez.com

心友会コーナー

●心友会だより布教キャンペーン
心友会だよりを年間千八百円(二部につき)でおわけします。親戚の方や、知人の方にお渡しください。

こちらから直接郵送も可能です。(郵送先をお知らせ下さい。)

●会長先生のご著書がございます
会長先生のご著書、「日本の心 神道入門」(再版)、「霊のめぐみ 霊のさわり」神霊の奇跡、「神のこころ・霊のめぐみ」全て、末広会にて販売しております。在庫に限りがございますので、お早めにお求め下さい。

●不明な点等ございましたら
〇四四(九七六)〇七〇八 佐藤まで

末広会コーナー

●御歳暮予約受付中
謝恩価格にて全国宅配無料! 産地直送便を始め約八〇〇点。その他、各種贈答品承ります。多少に拘らずお気軽にご用命下さい。(一個でも注文OK)

●損保ジャパン代理店

自動車保険、火災保険、積立保険など、お客様のニーズに合った各種保険がございます。

●新製品続々登場

堂ヶ島の塩石鹸 六〇〇円
島キジ粉(一般) 六〇〇円
※詳しくは、お店にて。

●他にも多数商品がございます

お問い合わせ、資料請求は、
〇四四(九七六)二八八二まで

御札関係一覧表(控え用)見本

名称	御初穂料	数量	小計
出雲大社御玉串	お気持ちです	体	円
御肌守(赤)	500円	体	円
御肌守(青)	500円	体	円
交通安全御守	500円	体	円
車のステッカー	100円	枚	円
縁結御守	500円	体	円
縁結糸	700円	体	円
開運厄除御守	500円	体	円
絵馬	1000円	体	円
破魔矢 要予約	1500円	本	円
獅子頭 要予約	1000円	体	円
本部年会費	6000円		円
祖霊壇廟管理料	5000円		円
メ縄 3尺	3500円	本	円
メ縄 4尺	4500円	本	円
メ縄 6尺	6000円	本	円
★カレンダー	900円	本	円
ローソクA穴小	450円	箱	円
ローソクB穴大	350円	箱	円
御神酒	2000円	本	円
お守り袋	100円	ヶ	円
出雲暦	100円	冊	円
清掛 冬期用	2500円	枚	円
衿掛 夏期用	500円	枚	円
上記以外のもの 皿 瓶子 水器 車メ飾りなど ★カレンダーはオリジナルで年間行事が入っています			
合 計			円

お札等のお取り替えのご案内

平成18年もあと残すところ2ヵ月弱となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今年もお札やお守り等を取り替える日が近づいて参りましてのご案内申し上げます。

一覧表をご参考の上、同封の振込用紙(後日郵送)に住所、氏名、数量をご記入の上、郵便局よりご利用下さいませ。振込の確認ができ次第、12月16日より発送させて頂きます。ただし、送料は原則として着払いとさせて頂きます。

破魔矢につきましては、予約制で平成19年1月上旬の発送となりますのでご了承下さい。

従来通りに社務所の窓口でお札をお受けになる方もご面倒でも振込用紙に氏名と数量をご記入の上、お受けになるようご協力の程よろしくお願い申し上げます。

尚、振込用紙及び控え用紙は、大祓祭の案内と一緒に11月に発送させて頂く予定です。

お取り替えするもの

詳細は次号

出雲大社御玉串、注連縄、御肌守(赤青)、交通安全御守、縁結御守、縁結の糸、開運厄除御守、分宮詣りお札、H17年の神迎祭のお札、大祭のお札、破魔矢・獅子頭、その他神社仏閣で受けた御札・御守等

お取り替え期間

12月15日より12月29日まで 9:00~16:00

※ご注意:本部年会費(6000円)は、すべての会員の方より頂戴しておりますので、遅延にならないようよろしくお願い致します。

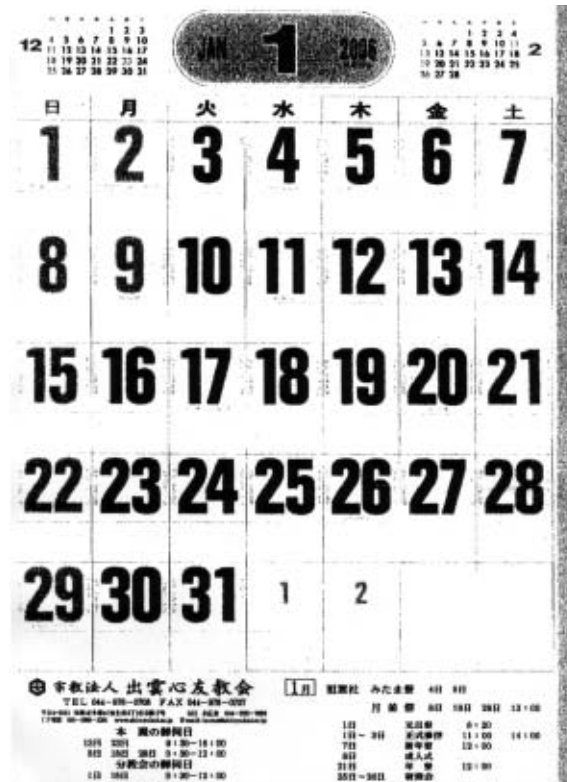
お便り

十月の研修会で、箱根の仙石原へまいりました。その時の様子を荻田様が詠まれましたので、紹介させて頂きます。

- ◎箱根路に 秋は来にけり すすき原 誘ふごとくに ひかりかがやく
- ◎白銀の 頭を揃へ すすき原 老いて輝く 我らの如くに

世田谷支部 荻田みさを
箱根路にて

※定価九〇〇円で、未広会にて販売します。



二〇〇七年
オリジナルカレンダー見本

十一月～十二月の行事予定

十月

四日(土) みたま祭
五日(日) みたま祭

十二日(日) 年祭 正午

十二日(日) 総代会 四時

十三日(月) 七五三詣

三十日(木) 神迎祭

十一月

四日(月) みたま祭

五日(火) 年祭 正午

十日(日) 総代会 四時

十八日(月) 合同慰霊祭 二時

二十四日(日) 餅つき 九時

三十日(土) おたきあげ 二時

三十一日(日) 除夜祭

みたま祭だより

十月

加藤力家 伊坂家 林家

肥田家 篠原家 荻田家

片岡家 大久保富久子家

益田家 熊野家 山田家

加藤ノブ家 吉田家

大久保幸子家

以上の家々の御供養を御奉仕申し上げます。

十一月十二日(日) 十二月十日(日)

年祭 (感謝祭) 正午

その月に祀られた方々が、一年に一回、御加護して頂いた感謝の気持ちを大らかに御奉告申し上げます。御祭です。出欠は往復ハガキにて確認させて頂きますので、必ず御返送下さい。直会まで、参加しましょう。

また、祀られた月に都合がつかず、今月出席を希望される方は、日程を確認の上、必ず電話連絡されてからお参り下さいませ。尚、御神体と清掛をお忘れなくお持ち下さい。

心友会ホームページのお知らせ

メールをお持ちの方は、アドレスの登録を行いたと思いますので、下記の心友会のメールアドレスに件名「登録」にて住所・氏名・電話番号を送信お願い申し上げます。心友会のURLは www.shinyukai.or.jp izumo@shinyukai.or.jp です。また、ホームページ等へのご意見感想もお送り下さい。

十二月四日(月)・五日(火)

みたま祭 (祖霊社) 正午

十時・十一時・一時半・二時半・三時半にお仕えさせて頂きます。

各月(その月)に命日を迎えられる方々の御供養をさせて頂きますので、日程をご確認の上、お早めにお申し込み下さい。

また、お申し込みの方が多数いらっしゃるため、別の月の方や三柱(三人)の方は、日程を別におとり致しますので、社務所までお申し込み下さいませ。

お知らせ

出雲心友教会も、IP電話に加入致しました。電話番号は、050-3386-2284です。尚、IP電話同志は、通話料が、一切かからないそうです。(無料です) IP電話に加入されている方は、電話番号をお知らせ下さい。(登録して下さい) ※今までの044-976-0708でも通話出来ます。

十二月十八日(月)

合同慰霊祭 二時

信者さんで亡くなられた方々を年一回、合同で御供養させて頂く霊祭です。

月並祭終了後、祖霊社にて仕えさせて頂きますので御遺族の方々はもちろん、有志の方々も是非参列下さいませ。尚、当日も御伺いをさせて頂きますが、受付は午前十一時厳守と致しますのでご了承下さい。

また、合同慰霊祭の後、御遺族の方々による直会がございます。(お時間のある方は御参加下さい。)

お願い

いつも心友会だよりをこ愛読頂きまして、誠に有難うございます。この心友会だよりは、皆様方の会報として発行させて頂いておりませんが、移転などによって戻ってきてしまうものもありますので、移転などによって住所が変わる方、住居表示が変わった方は、お早めに社務所までご連絡下さいます様、お願い致します。

十二月二十四日(日)

大祓祭 二時

日常生活の中で、私たち人間は知らず知らずのうちに、言葉によって人を傷つけているものです。

そうした言葉などの罪や穢れを、自分の言霊(自分の発した言葉)によって浄化し(大神様との霊波の交流で浄化し)、更には自分自身を切麻きりぬさによって祓い清めます。

地方の方や、御身体の不自由な方、またどうしても都合がつかない方は代参をお受け致しますので、人形にお名前と生年月日をご記入の上、社務所までお申し込み下さい。(人形は一人につき一枚必要です。)尚、御守の申込書と一緒に人形と振込用紙をお送り致しますが、当日おみえになれない方のみ、ご返送下さいませ。

お行明けの問い合わせについて

信者の皆様(特に地方の方々)からお送り頂いております、御祈願・御供養等のお行明けにつきましては郵送後十日以内の午前八時三十分から午前九時までと午後五時三十分から午後六時までにて電話にてお行が通っているかどうかを確認して下さいませ。

て下さい。

尚、おろう(ローソク)の御伺いにつきましても、御霊示(御注意)が出ますので、なるべく早くお電話下さい。(例えば、一週間以内に煩わしい事がありますとかの御霊示がありますので) いずれにしましても前記の期間・時間内に必ず、お電話下さいませ。

編集後記

☆今年も残り少なくなってきました。☆今年も無事終わり、今月末日には、出雲で神迎祭

がございました。

☆今年もこの荘厳な神事に参列予定でございます。

☆これから寒い季節となりますが、身体に気をつけて頑張りましょう。